

第154回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成21年12月10日(木) 16:30~17:30

2 開催場所 エフエム栃木会議室

3 委員の出席 委員総数 8人
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 青木 敬信(委員長)
早川 富美子(副委員長)
片岡 真理
片山 貴之
古磯 勝子
島田 恭子

(2) 欠席委員の氏名 須賀 英之、森内 律子

(3) 放送事業者側出席者 神野 俊彦(代表取締役社長)
池田 喜一(取締役放送部長)
佐藤 望(放送部部长代理)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴および意見交換

12月3日に放送した「昭和歌謡メモリー」について、試聴と意見交換を行った。

事業者 今回は、10月にスタートしたエフエム栃木制作の新番組「昭和歌謡メモリー」(毎週木曜日の15:00~15:55に放送)の12月3日放送分をお聴きいただき、ご講評をお願いします。

この番組は、1970年代から80年代に多感な時期を歌謡曲とともに過ごし、現在はある程度ゆったりと過ごす自分の時間が増えた世代に向けて、昭和の時代を飾った数々の名曲を当時の様子を振り返りながら紹介しています。また、リスナー層の拡大やスポンサープレゼン先の開拓なども狙いとしています。

ナレーターは、東京都在住のDJ佐藤健一、コーナー出演者として森昌子などがトークや楽曲の紹介を展開しています。

【 番組の試聴 】

- 委員 番組の構成や内容はいいと思う。
楽曲やゲストとのトークに合わせて、自分の当時の人生や時代背景が蘇ってくる。
FM では今までこうした番組はなかったように思う。年末になると、なつかしの歌謡曲のような番組が多くなるが、一週に一度あるのは大変おもしろい。
メインナレーターは自然体であり、森昌子のナレーションでホッとさせられ、やっさんのコーナーで又別のナレーターが出てくるなど、1時間番組の中で変化があり、その構成がおもしろい。
- 委員 番組のコンセプトとして昭和のいい時代に焦点を当てたのは、とてもいい。
年を重ねるとともに昔はいい曲がいっぱいあったな—と思うようになったが、こうした楽曲を放送して、若者にも知ってもらいたいし、聞いてもらえるのはいいと思う。
ナレーションも聞きやすく、やっさんのコーナーのBGMもいい感じである。
- 委員 リスナーターゲットが40代から60代とのことであり、当時の出来事を懐かしく思い出しながらホッとする番組である。
今はデジタル時代であるが、この時代は生バンド、生演奏が主流であり、こうした音にホッとするのは年を重ねたせいかもしれないが、今の時代、ほっとする時間が必要なのではないか。
昭和というタイトルからもっと古い楽曲をイメージしたが、誰もが知っているような曲が中心であることがいい。
森昌子のトークはいつ聞いてもホッとさせられるが、この番組では、もう少し自然体で話した方が支持も広がるのではないかと思う。
この番組を続けていけば、リスナー層も拡大するものと思う。
- 委員 高度成長と楽曲の思い出がイコールなのかどうか、あの時代が自分にとって本当にいい時代だったのかどうか、複雑な思いを抱く人もいるのではないか、当時の楽曲を聴いて必ずしも癒されないと考える人もいるのではないかと思う。
若者層はどのように反応するのか興味があるが、メロディのきれいな曲は、どの年代の層にも聞いてもらうのに値するものだと思う。
- 委員 私としては自分がよく聞いていた楽曲が聴けるのでとてもいいが、昭和の時代は長いので、番組タイトルの「昭和歌謡メモリー」及び流れる楽曲とリスナーそれぞれが考える昭和というものが、直に繋がらない人もいるのではないかと思う。
番組を聴いていて、楽曲が懐かしいからいい曲なのではなく、あの頃の歌がいい曲であり、きれいな曲であったのだと思った。
番組の構成の面から見ると、やっさんからの手紙のコーナーは、手紙が長くてだるい感じがした。このコーナーの意味が今ひとつ伝わってこなかった。また、ナレーターが手紙の内容を紹介する部分と自分の感じたことを話す部分のトーンをもっと使い分ける工夫が必要ではないか。
トークの部分が多いが、これは、若者層に当時の情景を説明するためのものかと思うが、メインターゲットが40～60代とすれば、説明はそれほど長くなくてもいいのではないか、楽曲を多くした方が楽しい番組となるのではないかと思う。
- 委員 昔を懐かしむだけでなく、番組の中に若者を入れて、やり取りをしながら若者が新たな発見をするという構成も考えられるのではないか。
- 委員 番組の中で、若者がこの時代の楽曲をどう感じるのか、という部分があると、今と昭和のこの時代がどう繋がっているのか感じられると思う。

委員 楽曲により親と子の絆が感じられる、深まる、というような構成があってもいいのではないか。

委員 新番組を始める時に、番組の狙いやコンセプトを明確にして制作することはいいことである。

もう少し、ナツメロだけどFMらしさ、オシャレな感じを出す工夫がほしい。必ずしもゲストとのトークが必要だとは思わない。

やっさんコーナーは、本人がうんちくを語るというような構成でもいいのではないか。

委員 最初のナレーターのナレーションが多少硬いように感じた。そのトーンが昭和なのかもしれないが、トーンとしては昭和を強く意識しなくてもいいのではないか。

事業者 放送時間帯としては若者向けの時間帯ではないので、40～60代をメインリスナーとして強く意識した番組作りをしている。

タイトルに関しては、インパクトを考え「昭和」という言葉を強調した。

番組を始めて反応の多さを改めて感じた。今後の番組に活かしていきたい。

(以上)

(2) その他

なし。

(3) 次回開催日程について

次回の開催を1月14日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 12月27日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内。

(2) 書面 本社事務所に備え置き。

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内。

8 その他の参考事項

なし